

専念寺通信

11月号 (NO.183) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

日差しの強い日と急に涼しい日を繰り返しながら、もう霜月となりました。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。

☆ 聖書道場

住職、小沼久志は10月24日から31日まで、住職となった僧侶が対象となる「聖書（じしょ）」という道場に行かせていただきました。

場所は芝・増上寺と近くではございますが、電話等の外部と

の連絡が一切禁じられての修行でした。

この間、若大黒とスタッフのみで寺を支えておりましたため、何かとご不便をおかけいたしました。

昨年都合により行くことができなかったため、この道場で学ぶことが住職の念願でございました。

檀家の皆さまのあたたかいご理解・ご協力に心より感謝申し上げます、道場で学んだことを生かして今後とも勤めて参ります。



☆ 落葉の季節

11月8日は立冬です。境内の銀杏の葉も落ちはじめ、いよいよ今年も残り少なくなって参りました。専念寺では例年お配りしております浄土寶曆を、11月より配布させていただきます。受付に備えておりますので、1部以上ご入用の際もご遠慮なくお声掛けください。

古塔婆についてご質問を受けることがままございます。処分

をご希望のお塔婆は、墓地内のもと焼却炉にお持ち頂きますようお願いいたします。消防の指導により、当山にてお焚き上げすることはできなくなってしまいましたが、供養の後、木チップとして再生してくれる業者に定期的に引き渡しています。塔婆立てが満杯となっている、古塔婆が朽ちているなどの場合は、当山住職の判断で抜かせていただくこともございますが、宜しくお願い致します。

いよいよ寒くなって参りますが、皆さまご自愛してお過ごしくださいませ。

平成27年11月1日

専念寺

